

日本共産党

中野区議会議員(1期)
区民委員会・震災対策特別委員会

浦野さとみの ほっこり通信



【共産党区議団控室】中野4-8-1
TEL :3228-8873 FAX:3389-8657
携帯:090-8049-4784
自宅:5942-8557 (FAX兼)
メール:urano@jcp-seven.jp
twitterからも情報発信!
urano_satomi
ブログも毎日更新中!
<http://jcp-seven.jp/uraura/>



福島原発事故と内部被曝 ～食と農と子どもを守ろう～

多数のご参加ありがとうございました。
ブログでも様子を掲載しています。



2月12日(日)午後、新井区民活動センターにて生井兵治先生をお迎えし【福島原発事故と内部被曝～食と農と子どもを守ろう～】をテーマに学習会を開催。現在の中野区の放射能問題に関する対応等の報告もおこないました。

【ICRP (国際放射線防護委員会)の基準は本当に正しいか・・・】

現在、政府などが用いているICRP (国際放射線防護委員会)の基準は、『原子力利用は危険でも相応の利益があれば、ある程度の人的被害(癌など)が増えてもよい』という、限りなく非人道的なもの。ICRPの勧告は国民のためではなく原発推進側の立場で、どんどん緩い基準になっていることを指摘。一方、ECRR (欧州放射線リスク委員会)は、『限りなく人道的で飲食と呼吸での長期の低線量内部被曝を重視しているため、より厳しい基準を示している』ことを紹介されました。

【政府や東電による情報の隠蔽】

今回の原発事故は、広島原爆20-30発分に相当する大事故。それにも関わらず、緊急時迅速放射能影響予測ネットワーク(SPEEDI)情報は国内より先に米国へ通報され、国内へは事故から10日以上が経過してから公表でした。



講師の生井兵治先生

【あご・ほっぺ理論・

”暫定規制値以下なら安全”とは言えない

人間のあごとほっぺには境目がないように、現在、国が示している暫定規制値も、この数値以下なら安全ということは決してありません。例えば、野菜や穀物のセシウムの暫定規制値が現在500ベクレル/kgですが、これが、500ベクレル以下(仮に499ベクレルや300ベクレル)だからその食品が安全とは言い切れいないということです。この暫定規制値は現在、見直しが検討されていますが、ドイツやウクライナ等の規制値と比較するとはるかに高い値となっています。

【きめ細かな検査体制と正しい情報公開を】

とにかく政府や東電は情報を正しく国民に公表することが何より必要だと強調。正しい情報がなければ正しい判断もできず、そのことが風評被害を拡大させることにもつながってしまうと。また、現在、おこなわれている食品の放射線検査体制も調査件数が圧倒的に少なく、全ての田畑でのきめ細やかな調査が求められていることを指摘されました。



会場いっぱいの参加者

参加者の声 (アンケートより抜粋)

ICRPの基準が当てにならないことがわかった。テレビでは殆ど正しく報道されていない。今後もこういう企画を開催して欲しい。



原発事故の原因究明が本当に求められます。内部被曝の問題も子育てをする上で本当に不安。政党関係なく、皆で協力しあって欲しい。

※今回は、保育室を設け保育士等3名の方にご協力をいただきました。また、生井先生をはじめ今回の企画準備・運営に関わっていただいたすべてのみなさんに心より感謝申し上げます。
※今後も、区民のみなさんの関心にこたえられる企画を続けていきます。区政に関すること等も含めご要望をお寄せ下さい。

区議会定例会のお知らせ

2月16日(木)～3月23日(金)の日程で、区議会定例会がおこなわれます。現在、区が公表している事業見直しは、高齢者福祉センター廃止、シルバー人材センターの補助額の削減等が盛り込まれています。これらのことも含め、来年度の予算について審議する議会となります。

区民生活に直結する事業の切り捨てを許さないため、みなさんの声を届けます。

私は今回、予算特別委員会で初の総括質疑をします。ぜひ、傍聴へいらして下さい。

(質疑は2月28日の予定です)



大きく変わる中野駅 中野通り頭上に東西連絡通路が

2月6日未明に工事がおこなわれました。



サンモール入口から中野通りをみる。